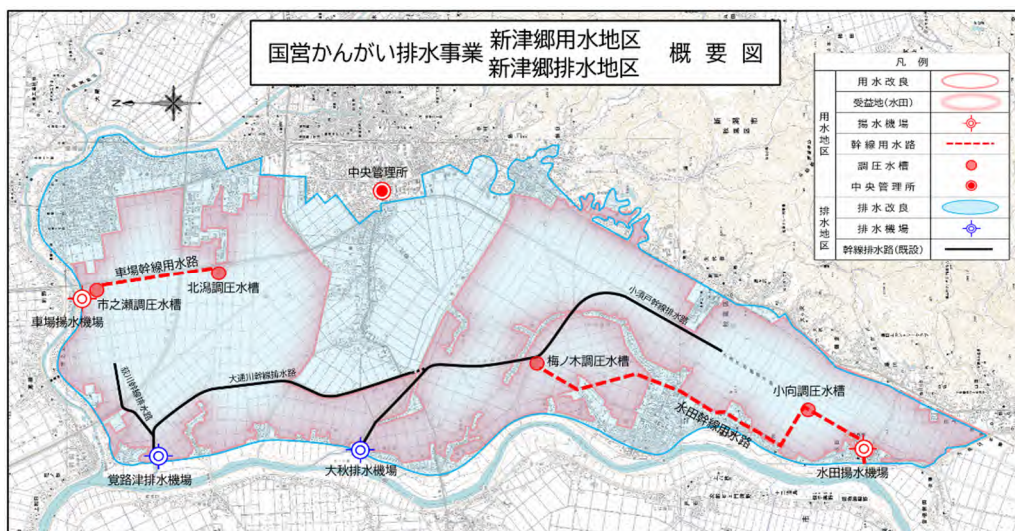




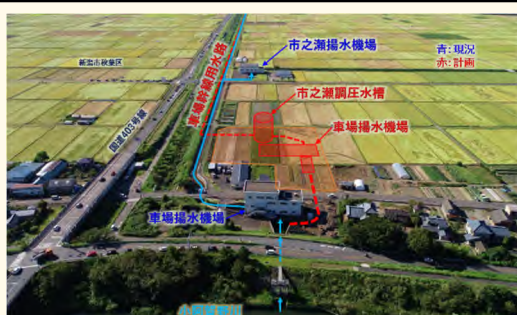
国営新津郷だより

2025 年
(令和 7 年)
1 月発行
第 2 号

NEW ! 車場揚水機場の工事に着手

令和 6 年度から新津郷用水地区の車場揚水機場工事に着手しました。令和 6 年度は、工事用進入路の盛土や機場敷地内の工事用道路部の地盤改良等を行っています。

令和 7 年度からは、本体工事に着手する予定であり、車場揚水機場と市之瀬調圧水槽を併せた国債工事を計画しています。その後、ポンプ設備工事などを行い令和 11 年度までの完成を目指しています。



【車場揚水機場施設計画】



【令和 6 年 10 月 地盤改良】

<発行元>

北陸農政局
新津郷用水
農業水利事業所

〒956-0015
新潟県新潟市秋葉区
川口 578 番地 13
Tel : 0250-47-7530

NEW !

新津郷排水地区の事業着手

令和 6 年度から、国営かんがい排水事業「新津郷排水地区」を事業着手しました。

本地区は、先行する「新津郷用水地区」と同様、新潟市秋葉区及び南蒲原郡田上町を受益地とし、国営新津郷土地改良事業（昭和 47 年度（平成元年度）により整備された大秋排水機場及び覚路津排水機場を改修（老朽化対策及び耐震化対策）します。

令和 6 年度から 7 年度にかけては、電柱の移設や工事用道路の建設、不要な建物の撤去等の準備的な工事を行う他、電気関係の協議を進めています。さらに、令和 8 年度からの本格的な工事の着手に向けて、排水機場、電気設備、管理棟等の実施設計を進めています。また、機場周辺の環境調査を実施しており、周辺の動植物への影響を配慮した工事とするよう努めています。



【大秋排水機場 植物相調査※】



【覚路津排水機場 鳥類調査】

「拓水の功郷民永く康し」

事業所のホームページのタイトルにもあるこの言葉は、既設水田揚水機場にある国営新津郷土地改良事業（前歴事業）の完工記念碑に刻まれています。

この記念碑は、新津郷開発において取り組んだ治水、利水事業により過去の苦難を克服し、湿原を肥野によりみがえらせた先人たちの不屈の精神とたゆまざる努力を想い建てられたもので、前歴事業が完工した感激を長くとどめるとの思いが込められています。

新たに着工した本事業においても、この思いを受け継ぎ、近年の気象状況や周辺環境の変化等にも対応しつつ、災害発生リスクの減少のほか、環境との調和や多面的機能に配慮した社会構築に向けた取組により、地域の発展に貢献できるような事業展開を図っていくこととしています。



【国営新津郷土地改良事業完工記念碑】

農業農村整備事業や当地区での工事等についてPR

現地視察の受け入れを行い、農業農村整備事業のPRのほか、用水地区、排水地区の事業概要や工事概要について説明しました。

○若手かんがい排水技術者のための勉強会（令和6年8月2日（一財）日本水土総合研究所 参加者…大学生ほか計39名）

○現場研修会（令和6年11月17日 北陸土地改良建設協会 参加者…24社、計34名）

○このほか、他地区から当地区への現地視察等（2件）



【大秋排水機場 操作室】



【車場揚水機場 ポンプ室】

所長挨拶

北陸農政局

新津郷用水農業水利事業所

後藤 高広

北陸農政局新津郷用水農業水利事業所は、令和2年8月に事業所を開設以来、新津郷用水地区の事業の推進に当たり、埋蔵文化財に係る調整、新設を計画している調圧水槽に必要な水位の調整、関連する施設の検証等を主として実施してまいりました。今年度は、これまでに調整してきた基本方針を受け、実施設計を進めることができ、来年度の車場揚水機場の本格的な着工に向けた準備工事も行いました。

一方、新津郷排水地区は、事業着工に向けて、令和6年1月より法手続きが進められておりましたが、同年7月に計画が確定した後、当事業所において事業を実施していくこととなりました。

当地区は用水、排水ともポンプ場に依存する地域であるが故に、地元の方々は、維持管理に当たっての苦労も多く、効率的な水管理に向けて高い関心を持っております。事業所としては、こういった地元の思いに寄り添いながら誠意を持って今後の事業を推進して参ります。関係する皆様方のご支援とご協力のほど、よろしくお願い致します。



本誌も掲載されている新津郷用水農業水利事業所 HP はコチラから！

(<https://www.maff.go.jp/hokuriku/kokuei/niitugou/index.html>)